

絆

[きずな]

KIZUNA

世界最大の発行部数1000万部を誇る
読売新聞の一翼を担う!

読売新聞尾道工場 (メディアプレス瀬戸内株式会社)

エレベーター・リニューアル「FLEX RENEWAL」

わが社の「やる気の出る」人事考課賃金制度

あなたの代わりに読んでみました

備後B級グルメ第2弾「府中焼き」

ぎじ鳩Pちゃん飼育記

エレベーターブレーキ保持力検査実施



読売新聞尾道工場

(メディアプレス瀬戸内株式会社)

特集

【納入先企業様紹介】

世界の最大の発行部数二〇〇〇万部を誇る
読売新聞の二翼を担おう！

読売新聞尾道工場
(メディアプレス瀬戸内株式会社)

新幹線新尾道駅からびんご運動公園を超えて車で十分、山陽自動車道尾道インターチェンジからは南に車で十五分の県営尾道流通団地を目指す工場はありました。約四二〇〇坪の敷地に建てられた三階建ての読売新聞尾道工場は、読売新聞の中国地方初の工場なので、

社員数は、関連会社合わせて三六名と小人数ですが、これで休刊日を除く年間三百五十日印刷を行うとのこと。その理由は見学をして納得。巻取り用紙の搬入から商品梱包まで、徹底した省人力化が行われています。

また、読者に遅滞なくお届けするには機械・設備の二〇〇%安定稼働を維持する必要があります。昼間の機械のメンテナンスは欠かせません。機械に絶対はありませんが、それに挑戦されています。

ちなみに社員数三十六名のうち保守技術者は五名体制だそうです。

ここで印刷工程を藤原工場長に教えて頂きました。全てコンピューターで制御されており驚きの超ハイテク印刷工場です。巻取り用紙を搬送し装着する無人搬送台車は「AGV」といって、なんと高級車レクサスと同じくらいの価格なんだそうです。当工場印刷された新聞には、最終頁のテレビ欄左下に「尾道A」と印字してあります。AとかBは生産ライン記号、Fは設備の略称だそうです。新聞紙のリサイクル率は高く、約六十〜八十%の古紙が含まれているそうです。

読売新聞は記事も読みやすく、良識派新聞として庶民に親しまれ、子供からお年寄まで、安心して読めるところが世界最大発行部数に到達した理由なのだろうと思います。デジタル時代で活字離れが叫ばれていますが、もの考える過程において紙による活字の魅力は、今も変わることはありません。今一度、活字を見直しましょう。



メディアプレス瀬戸内株式会社 専務取締役 工場長 藤原 武彦 様



●用紙無人搬送台車



●印刷用インキ



●輪転機、用紙投入部

一学級全員が乗れるエレベーター



メディアプレス瀬戸内株式会社 専務取締役 工場長 藤原 武彦 様

メディアプレス瀬戸内株式会社は二〇〇八年四月に、中四国の読売新聞を印刷する目的で、愛媛県松山市に本社のあるセキ株式会社と読売新聞大阪本社によって設立された

合弁会社です。尾道工場の他に、香川県坂出市に坂出工場があり、尾道工場と合わせて毎日約四〇万部の日刊紙を印刷しています。

新聞は、公共的の使命の高いメディアであり、その社会的責任には大きなものがあります。読売新聞は、朝刊発行部数が約一〇〇万部。日本の二割を超える世帯で読まれている全国紙なんです。その情報を、確実に印刷してお客様

読売新聞尾道工場様のエレベーターの紹介



- エレベーター主仕様
- 型式:RS-TS3700-3S45-3
- 制御方式:インバーター
- 駆動方式:ロープ式ギアレス型
- 積載:3700kg 56名
- ケージ寸法:2300W×3000L
- 速度:45m/min
- 意匠:ステンレスヘヤーライン仕上げ
- その他:車いす対応仕様



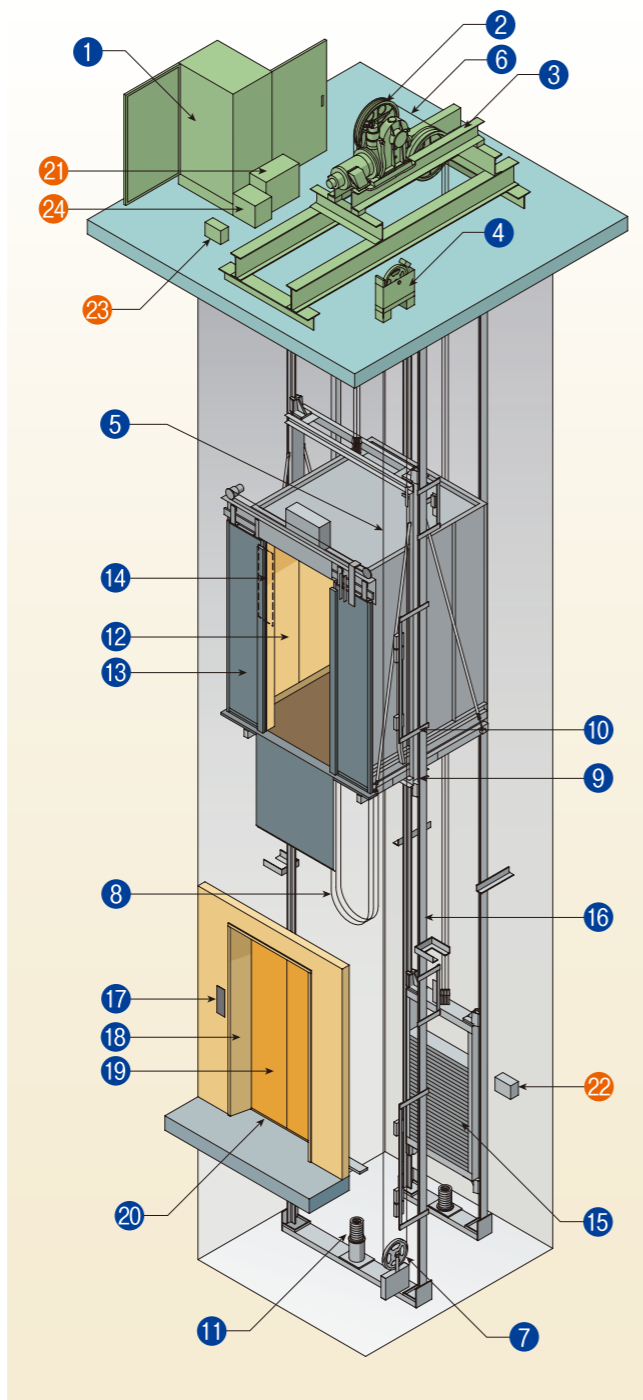
安全 快適 エコ FLEX RENEWAL

ニチウン・フレックスリニューアル

基本仕様(例)

品名および仕様	制御	準撤去	全撤去
1 制御盤	●	●	●
2 巻上機	●	●	●
3 マシンビーム	●	●	●
4 调速機	●	●	●
5 调速機ワイヤーロープ	●	●	●
6 メインワイヤーロープ	●	●	●
7 调速機テンションプーリー	●	●	●
8 テールコード	●	●	●
9 非常止装置			●
10 昇降路内リミットスイッチ	●	●	●
11 緩衝器			●
12 かごパネル			●
13 かご戸			●
14 かご操作盤	●	●	●
15 つり合いおもり			●
16 かごレール			●
17 乗場操作盤	●	●	●
18 三方枠			●
19 乗場戸			●
20 敷居			●
21 戸開走行保護装置盤	■	■	●
22 地震時管制運転P波	■	■	●
23 地震時管制運転S波	■	■	●
24 停電時自動着床装置	■	■	●

●…標準装備 ■…オプション装備



お客様の希望に合わせた
リニューアルプランをご提案いたします。

お客様のプラン、ご予算に合わせて、
エレベーターの部品交換から全面改修まで、
どのようなご要望にもお答えできる、
多種多様なリニューアルプランをご提案いたします。

機械にも必ず寿命があります。
安全を過信していませんか？

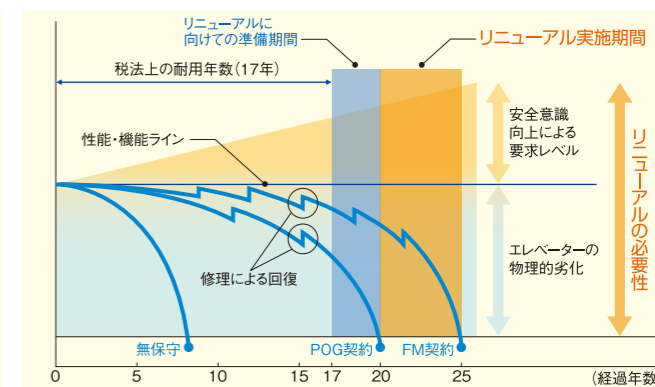
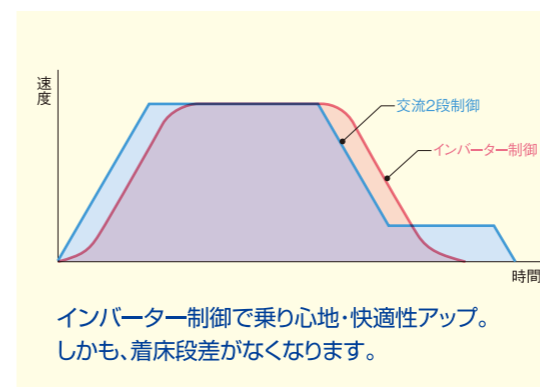
正常に動いている今だからこそリニューアルをお勧めします！
ほとんどのオフィスビルやマンション、商業施設などで、エレベーターが設置されています。そこを訪れた方はエレベーターを利用します。乗っている時間は短くても、そのわずかな時間、空間を快適に過ごしていただくことでその建物の印象が決まる、といっても過言ではありません。
エレベーターは、経年と共に故障やトラブルの可能性を増していきます。老朽化したエレベーターは、安全性・機能性が低下し故障修理の原因となる可能性があり、尚且つ、故障時の復旧(部品調達等)にも時間がかかり、使用出来ない期間が長くなる可能性があります。ですので、正常に動いている今のうちにリニューアルをお勧めします。

リニューアルのメリット

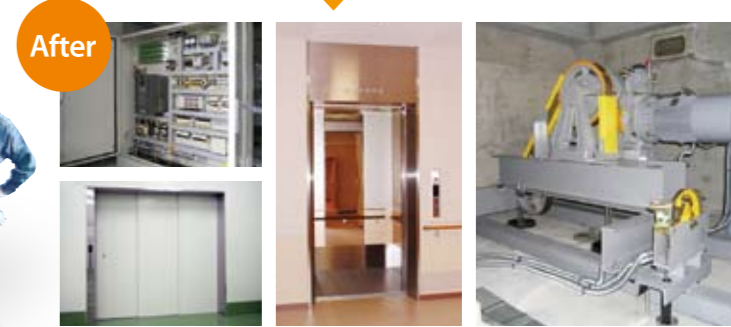
- 安全性の向上はもとより、耐用年数も延ばすことができます。必要な部分のリニューアルを選択することで、大幅なコストカットができます。
- インバーター制御方式でスムーズな乗り心地や着床精度の向上をはかり、より快適にご利用いただけます。
- 再利用できる部品を生かすことで取り替え部品を最小限に抑え、インバーター制御+LED照明で消費電力を低減するエコで環境にも優しいエレベーターになります。

リニューアルのタイミング

エレベーターもほかの電化製品と同じように、寿命(法定償却耐用年数は十七年ですが、計画耐用年数は二十五年と定められています)があります。保守点検で寿命を延ばすことはできても、その性能を維持することは困難となりますので、その建物をあと何年使用するかを考え、リニューアルを計画していただく必要があります。



古くなった
他社製
エレベーター
でもリニューアル
できます。



新安全基準のオプション装備がお勧めです。

- 1 ブレーキが2つ装備されました。(戸開走行保護装置)**
●機械のハードと制御するソフトも2重化です。これは扉が開いているときは、走行させない対策です。
- 2 地震時管制運転装置です。(P・S波に対応)**
●地震を感知して最寄階に強制的に停止し扉が開き、脱出の案内をするものです。
- 3 予備電源装置です。(停電時自動着床装置)**
●停電時におけるエレベーターを最寄階まで低速運転するための非常電源です。管制運転終了後は休止します。



わが社の「やる気の出る」人事考課賃金制度

第一回 「きっかけ」



「私のどこを見て評価しているんですか？」
 厳しい口調で詰め寄る部下。あなたならどうしますか？

これは、数年前に弊社の社員から実際に上がった声です。お恥ずかしい限りです。本号より、「わが社の「やる気の出る」人事考課賃金制度」と題して、弊社が現在実施している人事考課賃金制度をご紹介します。全五回の第一回は「きっかけ」です。それでは、弊社が制度を改定することになった経緯と旧制度の概要を見ていきましょう。

社員にとって人事考課の評価結果は、賃金に連動する重要なものです。仕事や成果を正しく評価されると、「やる気」や「生きがい」といったモチベーションアップにつながります。しかし、評価結果に納得ができなかったらどうでしょう？結果説明が曖昧だと不満が蓄積されます。士気が下がり、ある日突然退職といったことにも……。

そんなことが続けば、組織

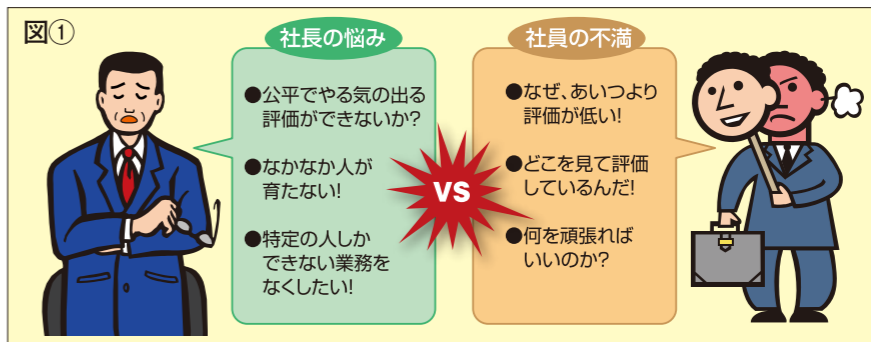
の雰囲気も悪くなり、業績にも影響が出てしまいます。

【これまでの制度】

弊社では市販の人事考課表を長きにわたり使い続けました。職種に関係なく共通で使えましたが、内容が抽象的で、社員からすれば何を評価されたのかが分かり難いものでした。「評価結果の説明を求められても、上司が答えに窮するような制度のままでもいいのか？」ニチウン独自の人事考課制度構築を目指したのが二〇〇六年六月。新たな制度の施行は二〇一一年六月、五年間の間、社員とともに試行錯誤を繰り返しながら時間をかけて作り上げました。現在も改定を繰り返しながら運用中です。

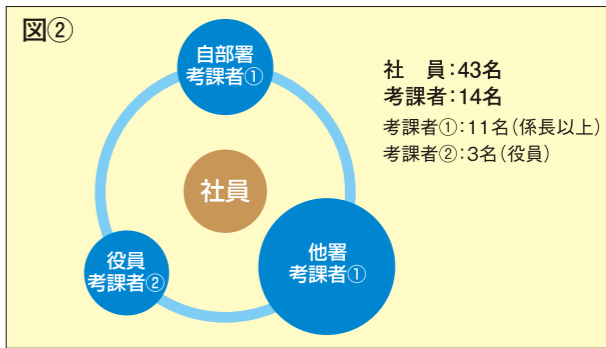
【社員の不満・社長の悩み】

図①は、旧制度での社員の不満と社長の悩みの対比です。解決しなければ、労使双方にとってマイナスであることは確かです。これが新制度構築へのきっかけでした。



【旧制度の概要】

旧制度は図②に示すように、一人の社員を合計十四名もの考課者（自部署＋他部署＋役員）で行っていました。全ての考課者の平均点を、当該社員の評価にしていました。



【考課者側の問題】

評価する考課者側も人の子。部下には折り合いの悪い者も、良好な関係の者も居ます。いくら考課者訓練をしても、評価に私情や主観が入るのは避けられません。また、評価が甘い考課者も居れば、辛い考課者も居ます。辛い上司を持った部下は悲劇です。考課者側の具体的説明の責任を避けるためには（考課者全員）の平均だからといってこの制度だったのです。

【他人と比べる社員】

評価結果が反映されるのが賞与や給与。社員は他の社員との金額を比べて、自分の評価に対する評価をします。たとえ数百円でも少なくければ不満を持つものです。

【「やる気の出る」制度へ】

新制度を策定するきっかけになったのは「社員の不満」。「社長の悩み」を解決することでした。次号からは、弊社で構築した制度の具体的な中身をご紹介します。第二回は「役割等級制度と昇格要件」。旧制度では「初級」「中級」「上級」管理監督者」という大まかな職級があり、振り分け基準も曖昧でした。ここから見直しをします。次号へつづく……



総務部課長 水本 英之

あなたの代わりに読んでみました。

「海賊と呼ばれた男」〈上・下巻〉

国民のために命を懸けた男たち

百田尚樹著

講談社



本書は、出光興産の創業者である出光佐三をモデルにしたノンフィクション小説です。

正に「事実が小説よりも奇なり」で、次々起こる難題は読者を引き付けて止みません。

上巻の第一章では、終戦後から物語が始まり、国岡商店の店主である国岡鐵造（出光佐三）が、戦争ですべてを失ったにもかかわらず「何よりもすばらしい店員が残っている、ひとりの店員もならん」と断言し実行します。

社員を大切にすると近くの出光SSの所長の言葉でした。下巻の第三章は、世界の石

油を牛耳る七大メジャーを相手に、将来日本の国益を考へてイランから石油の密輸を計画、英国海軍に拿捕される危険を冒して、秘密裏に渡航、ルートのをすり抜いたり、その状況はスリル満点です。密輸に成功した内容が克明に書かれています。

第四章では、世界最大級の製油所を徳山に建設していきます。通常なら二年以上かかる工事を国岡は、十カ月で完成しと命じます。奇跡的にも社員の必死の努力で十カ月で工事を完成させます。国岡は、「店員たちが初心を忘れずに頑張る気持ちを持っていくなら、必ず十カ月で完成する。しかし、自分たちは大会社の社員であるという驕った気持ちを持っていくなら、一年、いや三年経っても完成はしないだろう」優しさ、厳しさをもち合わせた本物経営者を見た気がしました。また、国岡は、それ以上に嬉しかったの



講談社

は、工事に携わった下請けの労働者たちの働きぶりだった。「これが日本の力だ。こういう日本人がいる限り、日本は必ず復興する。いつの日か、もう一度、欧米と肩を並べる国になる日が来る。いや、その日はもう遠くない」と語っています。正に「人」を中心にしてすべてを考える、国岡でした。

上下巻を通じて戦前戦後の出光興産にこのような歴史があったのかを初めて知ると共に、出光佐三のスケールの大きさに驚かされました。また、前向きな姿勢と正義を貫きとおす信念、次々と起こる難題をあきらめずとなく挑戦して行く姿は感動を覚えると同時に私に勇気を与えてくれました。



設計課主任 秋元 宏之

備後B級グルメ 第二弾 府中焼き

前回の備後B級グルメ「福山鯛うずみ」に続き、今回は「府中焼き」。福山市の北に位置する府中市伝統のお好み焼きです。府中市といえば、江戸時代から続く府中家具で有名な町。

体を外はカリッと、中はフワッと焼き上げます。また、もやしは使わずキャベツをたっぷり使うところも府中焼きならでは。その為キャベツの甘味がしっかりと詰まっています。府中焼きが楽しめる店は府中市内に約四〇店舗、見逃さないで当地B級グルメです！

「府中焼き」は高度経済成長期に子供のおやつとして、安く旨味が出るミンチを使ったお好み焼きが始まりと言われている。雰囲気は広島焼きと似ています。が、「味違っで当地グルメとして定着しているのです。お好み焼きによく使う肉として挙げられるのは豚バラの薄切りですが、府中焼きは脂身の多いミンチを使うのがポイント。鉄板の上ではミンチ肉の脂身が溶け出し、その脂でお好み焼き全



技術サービス係 小林 俊博

